

介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況等について

1 介護予防・生活支援サービス事業

(1) 短期集中サービス (単位：人)

区分	H29 (7～3月)	H30	R1
運動器機能向上	29	33	22
口腔機能向上	4	7	4
合計	33	40	26

(2) 訪問サービス (単位：人 (各年度末))

	H29	H30	R1			計
			45分未満	60分未満	60分以上	
訪問サービス	393	417	9	153	220	382
(うち、1回あたり)	(14)	(22)	(3)	(7)	(7)	(17)

(3) 通所サービス (単位：人 (各年度末))

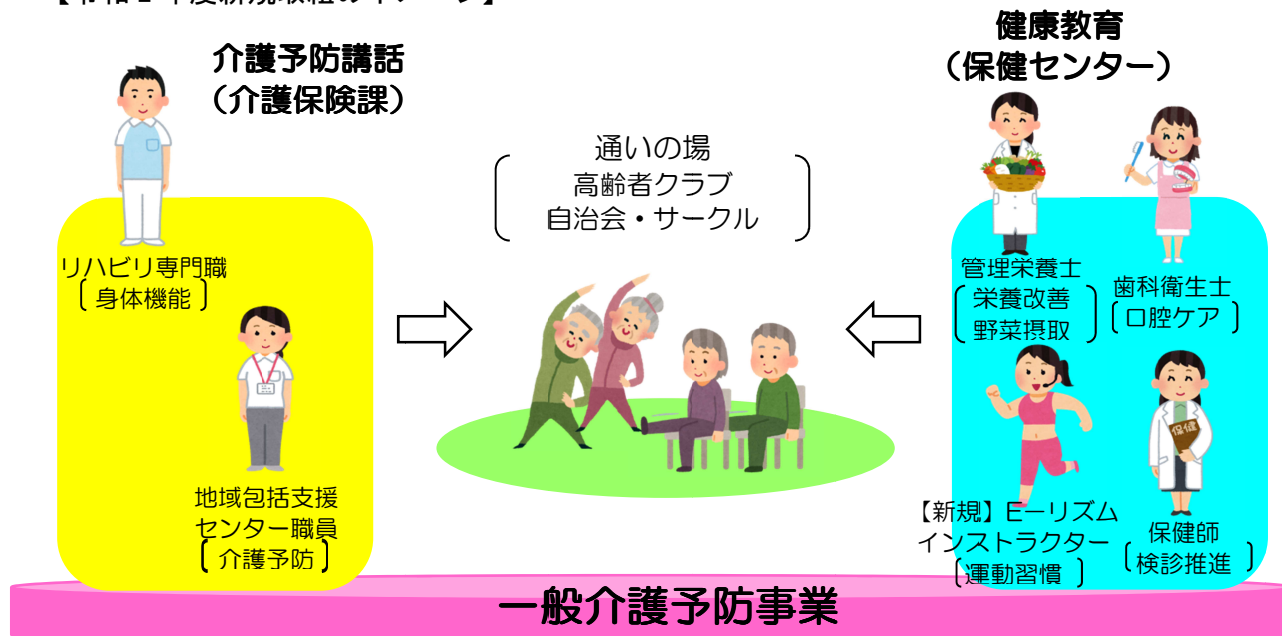
区分	H29	H30	R1		計
			4時間未満	4時間以上	
通所サービス	961	1017	286	547	833
(うち、要支援2で週1回)	(161)	(195)	(63)	(107)	(170)
通所サービス (基準緩和)	0	5	2		2

2 一般介護予防事業

(1) 通いの場を活用した健康づくり・介護予防

高齢者が主体的に集まって体操等に取り組む「通いの場」の活動を支援するため、「通いの場」に地域包括支援センター職員やリハビリテーション専門職、歯科衛生士、管理栄養士及び保健師を派遣しているが、令和2年度から、Eーリズムシニアのらくらくイス編を指導するEーリズムインストラクターを講師に加えることにより、介護予防・健康づくりの取組を進める。

【令和2年度新規取組のイメージ】



3 包括的支援事業（社会保障充実分）

(1) 在宅医療・介護連携推進事業

① お薬手帳を活用した連携シート（平成30年9月～）

お薬手帳に、介護に関する情報を記載した連携シートを貼付することで、医師、薬剤師、看護師等と介護機関との連携に役立てる。

連携シート（おくすり手帳版）

お名前: 様 (記入: 年 月 日)	
要介護: (年 月 日 ~ 年 月 日)	
ケアマネジャー:	
利用している介護・福祉サービス	曜日・頻度
ケアマネから主治医・薬局にご連絡	

連絡欄
(年 月 日・)
(年 月 日・)
(年 月 日・)
備考:

② 第3回多職種研修会

開催日・会場	令和元年11月21日(水) 江別市民会館小ホール
講演テーマ	『本当は怖い歯周病菌～口腔ケアの重要性と高齢者の口腔内変化～』
参加者	116名

③ 研修情報の一元化

協議会ホームページに各団体が開催する研修情報を掲載（平成30年9月～）

アドレス <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/chiikiiryoy/60756.html>

開催日	主催団体	主な内容
R1.5.17	江別地域ケア連絡会	知って納得、現場で活かせる排泄ケアのコツ その2 排尿編
R1.7.18	札幌薬剤師会江別支部	歯周病と全身疾患
R1.8.7	江別市介護保険課	第2回暮らしと成年後見について考える研修会
R1.8.22	江別市地域包括支援センター	医療・介護の連携にみる権利擁護の重要性～意思決定支援の展開～
R1.9.7	江別医師会	救急医療週間 急病の傾向と対策を考える
R1.9.20	江別地域ケア連絡会	江別における在宅医療と看取りについて～自宅での看取りをみんなで考えよう～
R1.11.2	江別市社会福祉協議会	笑いで理解を深めよう！成年後見制度
R1.12.20	江別市介護保険課	第3回暮らしと成年後見について考える研修会

④ 医療機関ガイドブック（令和2年3月発行）

市内医療機関、薬局等のガイドブックを作成・配布

(2) 認知症総合支援事業

① 認知症施策の活動状況について

認知症施策の推進計画（平成30年度～令和2年度） 進捗状況

	施策 ※1	市の関連項目	平成29年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (見込 ※2)
ア	認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進	認知症初期集中支援チームの累計支援実人数	0人	1人	12人
イ	認知症地域支援推進員の活動の推進	認知症ケアバスの作成・普及	作成済	同左	同左
		認知症カフェの支援	3か所	4か所	5か所
ウ	成年後見制度利用促進法等に基づく権利擁護の取組の推進	成年後見制度に関する相談対応件数（新規相談の月別累計）	86件	122件	120件
エ	地域の見守りネットワークの構築	認知症見守りSOSネットワーク制度への参画	1箇所	同左	同左
オ	認知症サポーターの養成及び認知症の人とその家族への支援に関する取組	認知症サポーター養成講座受講者数	990人	1,270人	1,080人
		認知症高齢者家族やすらぎ支援事業利用日数	137日	104日	154日

※1 厚生労働省告示第57号「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」に基づく分類

※2 高齢者総合計画（平成30年度～令和2年度）において設定した活動指標等の数値

- ② 認知症安心みまもりあいネットワーク事業について
- ア VR（バーチャルリアリティ）を活用した研修会
市民を対象に認知症の症状を疑似体験する研修会を開催し、認知症の理解の促進と支える人の拡大を図る。
- イ 見守りのためのツールの普及支援
認知症の人の目印となるステッカーや検索に活用できる通信アプリなどのツールの普及支援を通じて、認知症の人を地域で見守る活動を支援する。
- ウ GPS位置検索サービスの利用促進
位置を検索することができるGPS機器の貸与制度により、認知症等の症状のある高齢者が行方不明や帰宅困難となるリスクの低減を図る。

(3) 地域ケア会議推進事業及び生活支援体制整備事業

① 自立支援型地域ケア会議

ア 令和元年度の取組状況

開催回数	9回（18 ケース検討）
助言者等	統括的助言者（理学療法士）、オブザーバー（石狩振興局保健師）、リハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、生活支援コーディネーター

イ 令和元年度の見直し内容

	見直し前	見直し後
事例提供者	地域包括支援センター	地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所
対象者	事業対象者、要支援1～2	事業対象者、要支援1～2、要介護1～2
検討内容	新規2件＋フォローアップ	新規2件＋フォローアップ、地域課題等に関する意見交換

② 生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の取組

1 生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）とは

多様な主体による多様な取組のコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進。
コーディネート機能は、以下のA～Cの機能があるが、当面はAとBの機能を中心に活動しています。

(A) 資源開発	(B) ネットワーク構築	(C) ニーズと取組のマッチング
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に不足するサービス創出 ・サービスの担い手の養成 ・高齢者が活動する通いの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者間の情報共有 ・サービス提供主体間の連携の体制づくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチング 等

2 生活支援コーディネーターの担当圏域

- (1) 第1層生活支援コーディネーター … 江別市社会福祉協議会 【2名】
 (2) 第2層生活支援コーディネーター … 地域包括支援センター 【17名】



③ 地域ケア会議と生活支援体制整備協議体の機能

個別ケースの検討から地域に共通する課題及び地域資源を把握し、充実・強化することで、新たな機能やサービスの創出につながるよう取り組みを行う。

江別市における「地域ケア会議」の5つの機能の考え方

